

施策番号	1303		
施策名	次世代を育むすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり		
概要	子育てしやすい生活環境の整備や子育て家庭への経済的支援，保育サービスの充実，ひとり親家庭の自立促進などにより，子育てに生きがいを感じられる社会づくりを進める。		
担当局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部・幼保総合支援室	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン（2015～2019）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	時間外保育事業利用児童数（人日）	e	a	515, 235	499, 497	504, 491	99. 0%	b	1. 00
2	一時預かり事業利用児童数（人日）	a	b	50, 464	43, 715	54, 590	80. 1%	c	1. 00
3	病児・病後児保育事業利用児童数（人日）	d	e	3, 539	4, 216	6, 847	61. 6%	e	1. 00
4	ひとり親家庭支援センター利用者数（人）	a	a	3, 111	2, 393	2, 518	95. 0%	c	1. 00
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		c	b					c	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	子どもの見守り活動など，身近な地域 で子どもとの交流や子育て支援の取組 が進んでいる。	b	b	87	286	190	70	16	649	-
				13.4%	44.1%	29.3%	10.8%	2.5%		
2	働き方の見直しや男性の育児参加な ど，仕事と子育ての両立に取り組むひ とや企業が増えている。	c	c	19	162	298	109	54	642	-
				3.0%	25.2%	46.4%	17.0%	8.4%		
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	C	令和元	B	令和2	C	施策の目的がそこそこ達成されている
重み付け	☒ 客観指標	対象者が子育て世帯やひとり親家庭という限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。				
	☐ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
- ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

一時預かり事業については、平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」において、保育短時間認定が設けられ、従前は就労等を理由として一時預かり事業を利用されていた方が、保育短時間認定による保育を利用されるようになってきていることなどから、利用実績が減少したと考えられる。なお、令和元年度については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、保護者に対し、可能な限り家庭での保育に協力いただくよう依頼する旨の対応方針を示した影響などもあり、年度末の一時預かりの利用実績が減少している。

また、ひとり親家庭支援センターについては、新型コロナウイルス感染症の影響による相談事業利用者の減少や令和2年3月に開催を予定していた講座・セミナーの中止の影響により、センターの利用者数が減少しており、これらからc評価以下となったと考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・京都市はぐくみプラン（京都市子ども・若者総合計画）（2020～2024）に基づき、地域のバランスや保育ニーズを勘案しながら、保育提供体制を確保するとともに、時間外保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業等の多様な保育サービスの提供体制の確保に取り組み、子育てしやすい環境を市民が実感できることを目指す。
- ・ひとり親家庭支援センターにおいては、ウィズコロナ社会における講座・セミナーの開催や情報発信の方法を工夫するなど、事業内容の充実を図り、利用者の増加を目指す。
- ・ワーク・ライフ・バランスの定着に向け、企業や勤労者をはじめ、社会全体の理解や合意形成を図るための広報・啓発等に取り組む。

施策名	1303	次世代を育むすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり				
-----	------	----------------------------	--	--	--	--

指標名	時間外保育事業利用児童数（人日）					
-----	------------------	--	--	--	--	--

担当課	幼保総合支援室	連絡先	2 5 1 - 2 3 9 0			
-----	---------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

保育標準時間を超えて保育を利用している児童の数

2 指標の意味

多様な保育サービスを提供するための取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	515,235	499,497	15,738人日減	504,491	京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた地域的なバランスを考慮した提供体制を確保するための当該年度の目標値	99.0%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	504,491	令和元年度	99.0%	京都市未来こどもはぐくみプラン

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた利用量の見込みを確保した提供体制を100%とし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
e	a	b

1 指標の説明

認可保育所等に入所していない児童の一時的な保育を利用している児童の数

2 指標の意味

多様な保育サービスを提供するための取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	50,464	43,715	6,749人日減	54,590	京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた地域的なバランスを考慮した提供体制を確保するための当該年度の目標値	80.1%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	54,590	令和元年度	80.1%	京都市未来こどもはぐくみプラン

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた利用量の見込みを確保した提供体制を100%とし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	b	c

施策名	1303	次世代を育むすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり				
-----	------	----------------------------	--	--	--	--

指標名	病児・病後児保育事業利用児童数（人日）					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

担当課	幼保総合支援室	連絡先	2 5 1 - 2 3 9 0			
-----	---------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

病氣中・病氣回復期に、仕事などの都合で家庭での育児ができない場合に、医療機関に付設された施設における一時的な保育を利用している児童の数

2 指標の意味

多様な保育サービスを提供するための取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	3,539	4,216	677人日増	6,847	京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた地域的なバランスを考慮した提供体制を確保するための当該年度の目標値	61.6%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	6,847	令和元年度	61.6%	京都市未来こどもはぐくみプラン

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた利用量の見込みを確保した提供体制を100%とし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
d	e	e

1 指標の説明

京都市ひとり親家庭支援センターで実施している事業の利用者の延人数

2 指標の意味

子どもを共に育むまちの発展に向けた母子家庭等への支援状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：ひとり親家庭支援センター事業実績報告に基づく、事業の利用者の延人数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	3,111	2,393	718人減	2,518	中長期目標の達成に向け、当該年度に達成すべき数値	95.0%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	2,518	令和2年度	95.0%	京プラン実施計画 第2ステージ

5 評価基準

最新の数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：97.5%～100%未満
c：95.0%～97.5%未満
d：92.5%～95.0%未満
e：92.5%未満

6 基準説明

京プラン実施計画 第2ステージに掲げる令和2年度までの目標数値（2,518人）を達成するために、当該年度に達成すべき数値を目標値として、達成率100%以上をa、以下2.5%刻みで評価する。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	c